

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：高校教育指導課

担当名：産業教育・キャリア教育担当

内線：6762

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B22	高校生の「農力」育成強化プロジェクト			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費		
事業期間	平成30年度～	根拠法令	産業教育振興法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律			宣言項目	06	次代を担う人財育成	SDGsゴール	4
						分野施策	030622	質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-1, 4-3, 4-4
1 事業概要 農業を学ぶ高校生の就農・就業意欲を喚起し、経営感覚や国際感覚、チャレンジ精神を持った農業経営者等となり得る人材を地域に輩出する。 (2) 就農意欲を高める農業教育事業 △740千円 (3) 地域特産品開発拠点整備事業 △112千円 予算の節減及び見込みを下回ったことによる減額				5 事業説明 (1) 事業内容 ア GAP教育環境整備事業 191,740千円 担い手育成に取り組む農業高校3校のGAP実践のための教育環境整備 イ GAP教育推進事業 4,300千円 (7) GAP実践・認証取得 農業高校8校においてGAPの実践・GAP認証の取得に取り組む。 (4) GAP教育の推進 生産物を用いた商品開発や6次産業の実践による意識改革と生徒の就農意識の向上につなげる。 また、東京オリンピックに向けて、選手村やホストタウンとの連携の元、生産物の提供を行い、 質の高い農業高校産の野菜の提供をして農業高校の魅力PRにつなげる ウ 地域特産品開発拠点整備事業 1,444千円 秩父農工科学高校で、埼玉大学等と共同で特許を持つ「第3のみつ」について、実際に地域の養蜂家が使えるようにするため新たな製造技術の開発等に取り組む。 (2) 事業計画 ア GAP教育環境整備 (7) 農業高校2校 温室整備、畜舎整備 イ GAP教育・認証取得 (7) GAP認証の取得 GLOBALG.A.P 熊谷農業(野菜) 杉戸農業(果樹) S-GAP 農業高校8校 (4) GAP教育の推進 GAP教育により栽培した農業生産物の販売 オリンピック、ホストタウンへの食材提供、地元企業等との連携による商品開発 ウ 地域特産品開発拠点整備事業 「第3のみつ」の製造技術開発・地域特産品の開発販売等(H30～R4) (3) 事業効果 ア 農業高校の魅力向上 (4) 補正予算の概要 イ、ウ 予算の節減及び見込みを下回ったことによる減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円										

予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金							
決定額	△852							△852	24,241
現計額	25,093	10,652						14,441	